



研究所だより

那覇市立教育研究所

那覇市金城3-5-3

Tel 891-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken.okn.ed.jp

所長 田中 浩三

校内研究を進めるに当たって
所長 田中 浩三

参考になれば幸いです。

（①）校内研究の重要性は年々高まっており、「やるべき研究」として一人一人が自覚と使命感をもつて取り組むことです。

（②）「なぜこの研究をするのか」「研究することによって何が子どものためになり教師自身のためになるのか」という研究の価値や方向性を明確に共有化しながら進める。

（③）校内研究を日々の授業実践に役立てる研究にするために進め方等を工夫し、意欲の高揚を図りながら推進する。（例えば、授業を見る視点の明確化、参加型の授業研究会の工夫、授業改善シートの工夫、評価・検証の工夫等）

（④）時間には限りがあり「貴重な時間を使っている」という意識をもたせ、短時間で効果的な研究の進め方を模索する。（例えば、「個人や担当者がすべきこと、全員ですべきこと等を分担しての時間活用等）

結びに、校内研究の活性化を図るために、「自校の研究スタイルはこれでいいのか」という振り返りの視点をもつこども大切だと思います。右項目が見直しの参考になれば幸いです。

「校内研究」といえば、各学校が自校の教育課題について組織的・計画的に取り組み、しかも実践的に研究することから教師の指導力や資質向上に大きく貢献している研修の一つとなっています。また、教師同士の経験知やチームワーク等を生かしながら、学び合つて、支え合うという同僚性を生かした協働的研究を行っており、教師の主体性が最も発揮されている教育活動ではないかとも考えています。

さて、六月に入り市内各学校では、校内研究における研究授業が次々と実践されています。これらの実践で特徴的なことは、多くの学校が「思考力・判断力・表現力の育成」という学力向上の課題に対し、全教師が研究授業を実践しながら授業改善等に取り組んでいることです。

そこで、各学校では校内研究を推進する上で、課題解決に効果的・効率的方法等を常に考慮しているものと思います。しかし、あえて取組の視点を次のようにまとめました。

県到達度調査 分析説明会を終えて



●昨年11月に実施された沖縄県学力到達度調査の結果の分析と考察等の説明会が下記の日程で行われました。ご多忙の折、小中学校の教頭をはじめ、多くの先生方のご参会をいただき、深く感謝申し上げます。課題への手立てを今後の授業等に生かして頂けると幸いです。

【小学校 国語・算数】平成24年5月17日 パレット市民劇場
 【中学校 国語】 平成24年5月21日 とまりん 第1会議室
 【中学校 数学】 平成24年5月21日 真和志庁舎 3Fホール
 【中学校 英語】 平成24年5月21日 教育研究所 1Fホール



小学校国語 課題と手立て

A 問題…漢字を正しく書く、主語述語を見つけるなど「言語事項」や、考えが明確になるように文章を構成して書いたり、相手や目的に応じて話すことに課題がある。
 B 問題…段落相互の関係をとらえて読んだりつながりのある文章や図やグラフを使って考えが伝わるように書くことに課題がある。
 書く活動に交流を取り入れ、文の構成が正しいか確かめ合ったり修正したり、他教科と関連させて扱ったりすることも大切。



中学校数学 課題と手立て

「理由として考えたことを数学的な表現を用いて説明する」問題は落ち込みが大きく無回答も多い。平行線の作図やヒストグラムの読み取りも課題。領域別では昨年同様「図形」に課題が大きい。根拠を示して数学的に説明する場面を日頃の授業の中に取り入れていくことが大切。

小学校算数 課題と手立て

A 問題…「量と測定」でめもりの読み取りや、「数と計算」の小数の加法の筆算、「数量関係」で□や△を使った式に課題がある。
 B 問題…理由を記述する問題や示された式や解決方法を利用して解く問題に課題がある。
 測定など体験活動を取り入れたり、図や式・算数用語を使って自分の考えを説明する活動を日頃から取り入れることが大切。



中学校国語 課題と手立て

「論理的な構成や展開を考えて話すこと」「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること」「文章と図表などの関連を考えながら文章を読み、自分の考えを持つ」ことに課題がある。スピーチ学習を工夫したり、読み取った事を表や関係図にしてその関連を整理する活動を取り入れていくべきだ。



「授業づくり講座Ⅱ」 トキイ!笑顔で遊ぼうじゃんけんぽん

5/14(月)、教育研究所多目的ホールで、浦添市教育委員会指導部長 銘苅健氏を講師として招聘し「授業づくり講座Ⅱ」が行われました。

小中学校合わせて39名の先生方が参加して「学級経営と学級リソース」について、体を動かしながら学び、サバタイトルにあるように笑顔でじゃんけんぽんゲームを楽しみました。



中学校英語 課題と手立て

「大まかな流れをつかみながら中心となる事柄などを的確に読み取ること」「語彙力、文法力などの基礎的・基本的な知識、技能の習得」など「読むこと」「書くこと」に課題が大きい。単語、連語及び慣用表現は、単に機械的に記憶させるのではなく、「使用場面」で「働き」をしっかり理解させ言語活動を行い定着を図る必要がある。



<感想>

■小指導者が笑顔で楽しくしていると、自然に楽しい雰囲気になっていくんだなと思った。児童を変えるためには、先生自身が変わらないといけないと思った。
 ■中バラエティに富んでおり、大人の私たちでさえもエキサイトしてしまう活動が多く、実践したくなりました。思春期段階の生徒に声を出させるコミュニケーションに役立つと思いました。



お勧め月刊誌

『教育研究』

初等教育研究会(編集) 不昧堂出版
 筑波大学附属小学校・初等教育研究会機関誌。
 教育実践研究の動向をレポートや、同校の実践研究の過程や成果を公開。支部の研究成果も。



図書室にあります♪